

島根方言

大田市を中心とする石見地域



高知大学教育学部日本語学研究室 編

1、「こそあど」に関する表現

あがーあがー・そがーそがー → 左様左様(同意)

あが(ー)な・こが(ー)な・そが(ー)な・どが(ー)な
 ・あげな・こげな・そげな・どげな

→ あんな・こんな・そんな・どんな

○からだは どがなかね (体の具合はどうですか?)

2、身体感覚・症状

うずないー → 苦しい

うばる → ①膿を持った腫物が痛む ②乳が張って気持ちが悪い

からすなえ → 手足などが痙攣を起こした状態

ほーちやくする → 傷が化膿する

いたしー → 体が疲れて苦しい

おりおーとる → 病状が落ち着いている

かつえる・かつれる → 飢える

げどをあげる → 嘔吐する

しぼる → 腹の通じが悪い

ずつない → 病気で苦しい

せつい → 苦しい・息苦しい

ぞんぞがつく → 寒さが身にしみる

たがう → 手足の骨がはずれる

つかす → 咳をする

にがる → ①腹がゆるやかに痛み鈍痛がある
 ②(腹・肩・腰など)体の内部が痛む

のどがひる → 喉が渴く

まめになる → 元気になる

3、病名・症状(名詞)

えぼた・ししね → いぼ

がず・がずっぱ → 耳が聞こえない人

けんびき → 疲れによって出る病気

こぶらがえり・こぶらがやり・からすなえ → ふくらはぎの痙攣

すいばりがたつ → 竹や木などの棘が手などに刺さる

ちーちーぶくれ・つーつーぶくれ → 火傷による腫れ

ほろせ → 蕁麻疹(じんましん)

まより → めやに

めぼいと → ものもらい

4、程度・頻度など

いーしこーに・えしこに → いい具合に

いっぞ・いっこも → 全く・少しも

がいに・がえに → 強く・非常に

ごーぎな → ひどい

ちつただし・ちつたり・ほつたり → 少しも・ちつとも

さいさい → 時々・度々

じねんに → 少しずつ・自然に

だまに・ひよこつと → 急に

ちとがなえ → しばらく

とーから → ずっと前から

②

5、心情

あんきな → 安心な

いなげな → 変な・変だ

えらい → きつい・苦しい

おぞい → 恐ろしい

きをつかう → 心配する (共通語とはニュアンスが違う)

さえん → よくない・悪い

しわい → 難儀な・苦しい

たいぎー → 身体がだるい・疲れた

たまげる → 驚く

どがーもこがーもならん → どうもこうもならない

なんぎな → 病気で苦しい

やれん → たまらない・耐えられない・苦しい

6、動作

あずる・あじる → もがく

いごく → 動く

いやしげ(いやし)をする → 間食をする

うつぶさる → うつ伏せになる

かがむ・かごむ → 屈む・しゃがむ

かぐる → 爪で引っかく

かけらかす → 走る

かしこまる → 正座する

かずむ → においをかぐ

けたくる → 強く蹴とばす

こける・まくれる → 転ぶ・倒れる

さでおちる → 転げ落ちる

さばる → 触る

たばこする → 休息する

ちばける・せく → あわてる

つぶる → 目を閉じる

つめくる → つねる

はさがる → 挟まる

ひる・こく → 大小便などをする

むぐ → 皮などを剥ぐ・むく

らくにする → あぐらをかく

7、身体部位

あぎ・はぶ → 歯茎

うなじ → 肩・背

えどんぼ → 尻・肛門

かいな → 腕や肩の付け根

きびさ・きびす → かかと

ぎり → つむじ

こぶら → ふくらはぎ

せな → 背中

たかたかゆび → 中指

ちちまめ → 乳首

つ → つば

(ごぼず → よだれ)

のどまめ → ①のどぼとけ ②のどちんこ

はらわた → 腸

ぼんのくじ・ぼんのくび → 後頭の下部のひっこんだところ

まひげ → ①眉 ②まつ毛

めんちよー → 女性の陰部

わた → 内臓

この手引き(最新版)は下記でダウンロードできます。

高知大学教育学部 岩城研究室

<http://ww4.tiki.ne.jp/~rockcat/>

(製作 高知大学教育学部 日本語学研究室 杉本名都美)

①

<注意すべき方言の特徴>

①地域による違いが大きい

島根県の方言は出雲・隠岐・石見で大きく異なります。

石見方言では、出雲方言に見られるいわゆるズーズー弁のようなものはありません。

②進行形と完了形が区別できる

出雲地方では、進行形と完了形の区別はなくどちらも「～トル」または「～チョル」で表されますが、石見方言では、

進行形を「～ヨル」、完了形を「～トル」で区別して使用されます。

例えば、「バスが 来よる」は、バスが現在移動している状態を表し、「車が 来とる」は、バスがもう到着している状態を表します。

しかし、若い世代では出雲方言のように区別が失われつつあり、「～トル」で進行・完了どちらの表現もすることがあります。なお、石見方言では「～チョル」は用いられません。

③「～しないで」という条件表現のとき

否定「ン」 + 語尾「～コニ(コーニ)」

の表現を用います。

例えば、

「走らないで、行く」は「走らんこ(ー)に、行く」となります。

■使用方法■

*このツールはA3で印刷後、①、②の順でヨコに2カ所の山折り、次に左からタテに山折り(実線)、谷折り(点線)、山折りにすることで、ナース手帳などと同じ大きさになり、ポケットに入ります。

*方言は地域によって細かな差もあるため、メモ欄などに修正・訂正を加えながらご利用ください。

メモ